

第 119 回 肥前セミナー

「理学療法から考える精神疾患における リハビリテーション治療の役割と可能性～精神科理学療法～」

演者： 荒川 英樹 先生

宮崎大学医学部附属病院 リハビリテーション部 教授

日時：令和 6 年 2 月 16 日（金）午後 6 時 00 分から約 1 時間程度

場所：肥前精神医療センター内「医師養成研修センター」

脳卒中、外傷、呼吸循環器等の内部障害などの急性期治療とともに開始されるリハビリテーションの重要性は言を待たない。多くの患者がその恩恵を受け、社会復帰を果たすなど QOL の向上にも大いに寄与している。一方で、精神疾患を有する患者においてはこれらのリハビリテーションの恩恵を享受できているとは言い難い側面がある。リハビリテーションセラピストは、精神疾患を有する患者のリハビリテーションに際して十分な教育・訓練を受けておらず試行錯誤しながらリハビリテーションを行わざるをえない状況にあり、結果としてリハビリテーションがうまく機能しない結果を招来している。このような状況はリハビリテーションを受ける立場、行う立場の双方にとって不幸なことである。

近年、精神科病院にも身体を扱うリハビリテーションセラピストが配置されることが増えてきた。しかしながら、彼らが有効なリハビリテーションを行う土壌はまだ整備されていないと思われる。精神科では、伝統的に行われてきた「精神科リハビリテーション」という名の作業療法があるが、他方で身体に対するリハビリテーションの領域はまだ十分拓かれていない。

精神科患者の身体面はもちろんのこと、精神症状自体にも有効性を発揮しうる「精神科理学療法」の可能性について、リハビリテーション医学の気鋭の臨床家であり研究者である荒川英樹先生に存分に聞いていただく。

※参加は無料です。但、事前に FAX にて参加申込書をお送り下さい。先着順で受け付け、定員になり次第締め切らせて頂きます。

〆切 2 月 9 日（金）定員 80 名 参加申込書は書式を問いませんが、お名前、ご所属（職種）、連絡先を明記して下さい。

〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160
独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター
肥前セミナー係 松崎 公信 / 担当 加藤
TEL 0952-52-3231 / FAX 0952-52-3400

荒川 英樹 先生 プロフィール

平成 10 年に産業医科大学リハビリテーション医学教室で臨床医として研鑽を積んだ後、平成 17 年から和歌山県立医科大学リハビリテーション医学教室、平成 29 年から横浜市立大学リハビリテーション科学教室で勤務。令和元年に宮崎に帰郷、宮崎市立田野病院、宮崎大学附属病院を経て、令和 3 年 9 月より宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部教授。

